

2005年4月1日から2018年3月31日に、当院で真性多血症もしくは本態性血小板血症と診断された方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：日本における真性多血症および本態性血小板血症患者の臨床像、生命予後およびイベントリスクに関する多施設後方視的研究（JSH-MPN-R18）

研究期間：医学部附属病院長の許可日～2019年9月30日

研究責任者：山梨大学医学部血液・腫瘍内科学講座 教授 桐戸敬太

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

わが国における真性多血症、本態性血小板増加症患者の臨床像、実臨床での治療実態を把握し、生存率、イベント発生率、およびその発症に影響を及ぼしたと考えられるリスク因子を調査することを目的とした全国的な調査研究です。

【研究の方法について】

診療記録（カルテ）から、年齢、性別、血栓症や出血の合併があったか、糖尿尿や高血圧などの因子の有無、他の病気の合併などについての情報を調べます。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

2005年4月1日から2018年3月31日に、当院で真性多血症もしくは本態性血小板血症と診断された患者さん。

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、検査データ

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

この研究で使用する情報は、すべて各機関においてオプトアウト（通知又は公開と拒否する機会の提供）により入手し、匿名化されたデータです。

研究代表者

順天堂大学医学部 内科学血液学講座 小松則夫

共同研究機関及び研究責任者

山梨大学医学部 血液・腫瘍内科学講座 桐戸敬太

全国の日本血液学会血液専門医が常勤医として勤務している施設および日本血液学会認定研修施設
日本血液学会疫学調査「血液疾患登録」に登録されている施設

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部血液・腫瘍内科講座

教授 桐戸敬太

メールアドレス：kirito@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-9432